



2015年は受入割合が減少しております。

2014年10月の回復期リハ病棟開設以降、一般急性期病棟半減により受入可能な病床数が大幅に減少しましたが、「地域からの要請を断らない」を合い言葉に積極的受入に取り組んできました。

しかし完全満床の為に断らざるえないケースも発生し、結果として件数・割合共に救急車断りケースが増加しました。

